

名探偵 コミンカ

★謎解きクイズづくりに挑戦!

(前編)探検、コミンカ

平成 26年7月 26日(土)午前10時~正午まで
旧市川家住宅 参加者 18名/協力者 12名



1 開会
2 あいさつ・趣旨説明
愛知工業大学 工学部 建築学科
准教授 中井 孝幸 氏

3 ワークショップ
2班にわかれて、2つのプログラムに
取り組みました。

① 探検、コミンカ
屋根、梁、桁、柱など建物構造や当時の
暮らしについてフリップを使いながら学習
しました。

②おもちゃ作り
「おきあがりこぼし」
(野方友愛クラブメンバー指導の下、おきあ
がりこぼし作りに挑戦しました)

4 閉会

<愛知工業大学 工学部
建築学科 中井准教授 講評>

古民家とクイズづくり...一見関連していな
いように思える今回の企画ですが、実は2つの
目的があります。

一つ目は、皆さんが得た知識を「クイズ」と
いう形でまとめ、開館後も市民の皆さんに伝え
ていくための資料とすること。

二つ目は、皆さんが作るクイズからどのよう
な点に興味を持ったかを探り、今後の活用につ
いて参考にすることです。

次回のクイズづくりが楽しみです。

1 民家って？

江戸時代は、村の長となる庄屋を務めるような田畑をたくさん持った大きな農家があったり、田畑を少ししかもたない小さな農家があったり身分差が大きい社会でした。身分の違いによって、建てられる家の大きさも異なりました。

旧市川家住宅の場合、四つ建ての梁の間が3間(約5.4m)あり、民家の中ではかなり大型です。

2 屋根の組み方

オダチ組は、棟木を梁の上に立てた棟束で支える作り方で、民家では古い作り方。愛知県ではほとんど残っていない。例として熊谷家住宅(豊根村)がある。

サズ組は、合掌とも呼ばれるサズで屋根を支える作り方で、屋根裏に広い空間ができるため、屋根裏の利用がしやすい。物置などに利用することができた。

3 間取り

民家の間取りは、3室広間型から、4間取り(田の字形)へ変化しました。これは、建物の建て方に規制があった(立派な材料は使えない、飾りである長押や欄間は庄屋クラスでは可とされたなど)こと、部屋が使われ方により分けられていった(お客様を迎える部屋としての座敷ができたなど)からです。

4 ビフォー・アフター

旧市川家住宅は、野方可に建てられてから約250年の間に、現在までに周りの建物が建て替えられたり主屋も増築されたりしてきました。

間取りなどに、いくらかの移り変わりはあっても、主屋は建てられた当初の窓や建具のたてつけ方など昔の形式が良く残されています。

5 四つ建て(鳥居建て)

4本の独立した主柱と梁で基本的な構造を作り出す民家の建て方を、尾張東部では「四つ建て」と呼び、横から見た形が鳥居に似ているので全国的には「鳥居建て」と呼ぶ。

基本となる4本の柱は、部屋を分割する上では邪魔になるが、かつては3室広間型の間仕切りが少ない平面だったので、それでも良かった。外側の壁から中へ半間(約0.9m)から1間(約1.8m)入った位置に主柱を立てる。大黒柱はない。

6 三和土(たたき)

たたきの作り方

(たたき用の土) + (石灰) + (にがり) をあわせ、たたいて作る。

たたき用の土は、花崗岩などが風化した土を使用した。

7 マヤ(馬屋)

飼っていたのは

(木曾馬) 旧市川家五代目は、17才で庄屋を命ぜられ、以降、区長・戸長・香久山村村長を務めた。村内の移動のために下伊那郡根羽村まで出かけて木曾馬を入手して近隣の移動に用いていたと伝わる。

8 床

作り方(土クド)

ふるい
レンガ
タイル
あたらしい

9 下見板張(したみいたばり)

土壁を保護するために板を張るやり方。横長の板を上に向かって少しずつ重ねて張っていく。水が中に入っていないようにしている。

10 付随壁(つけひばた)

部屋境の鴨居の溝を、細い杭木を釘で打ちつけて溝を作る「付随壁」で作られている。杭木は「和釘」で止められている。一この作り方は、近世(江戸時代)のもの。とても古い作り方で、旧市川家が古い建物であることを物語る特徴の一つ。

11 畳(タタミ)

大きい順に

- 京間
- 中京間
- 江戸間

畳の大きさ

12 欄間(らんま)

天井と鴨居(かもし)との間に飾りを取りつけた部分。光を入れたり風を通したり、飾りにした。みぎ丸太を食い違いに立てて、二本の帯材でつないだ素素なつくり。8畳間のザシキと、4畳のナカノマは一体となったお客様用の空間であり、庄屋の家でないとは作ることが許されないものであった。

13 これはなんでしょう???

釘隠し。
おそらくはまぐりと海草のかたさをしている。座敷に敷か所がこされている。

14 屋根

★考えてみよう★

1 2

屋根の形は、①と②のどちらでしょう？
こたえ ①番。(入母屋)づくり。

★もんだい★
旧市川家の屋根にあるナソの文字はなんでしょう？
①火 ②山 ③鬼 ④水

こたえ ④番

火事を予防するために、水に関するものを屋根瓦などに配置することが多かった。

★おまけ★
どこに書かれていたか

「天保八年三月廿九日四代目主人口上」
(天保八年は一八三七年)

<日進市教育委員会 生涯学習課>
日進市蟹甲町池下268番地(市役所2F)
Tel: 0561-73-7111(代表)
0561-73-4190(直通)
✉: s_gakushu@city.nisshin.lg.jp